

銚子発・CFPの見える水産加工品流通促進協議会

■取組の背景

- 世界的に脱炭素に向けた動きが加速する中で温室効果ガスの約1/4は食料生産システム由来
- 日本屈指の水産関連産業の集積地である千葉県銚子では水揚げ減少や魚離れにより逆風
- 天然の水産物はあらゆる食料品の中でも環境負荷の低いものであるが注目度が低い

■取組の目的

- 「環境負荷の低いたんぱく質供給源」という水産物の新しい価値を発信し若年層に訴求
- サバ類をはじめとする銚子産の天然魚についてCFPを測定し見える化することで優位性を検証
- 魚離れが進む若年層を中心に環境負荷の低い食品として銚子産天然魚をPRし消費拡大に繋げる

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	役割
実施事業者	生産	銚子市漁業協同組合	・銚子で水揚げされた原料水産物の供給 ・生産者と加工業者の連携体制構築
	加工流通	全銚子水産加工業協同組合	・事業とりまとめ ・協議会運営 ・傘下加工事業者の連携により加工品の製造販売 ・CFPの計測
	販売	東京大学消費生活協同組合	・事業で実証する水産加工品の販売 ・流通から販売に至るCFP計測 ・大学生向けプロモーション活動の推進

■取組内容

生産

◆千葉県銚子産サバ類の生産から消費に至る過程におけるCFPの算出

- ✓ 銚子産天然サバ類のCFP計測＞銚子漁港に水揚げされるサバ類についてCFP（カーボンフットプリント：生産から消費・廃棄までのバリューチェーン全体で排出されるCO2の総量）を計測し**環境負荷の低い食材であることを証明するためのデータを算出**
- ✓ サバ類を用いた水産加工品のCFP計測＞銚子産サバ類を原料として使用する3～5品目程度の水産加工品についてもCFPを計測し**水産物の新たな価値をPRするための根拠として提示**

加工・流通

◆「環境負荷の低いたんぱく質」として水産物の新しい価値を創造

- ✓ 環境配慮に関する消費者の動向調査＞一般消費者のうち**環境配慮の意識が高い層を特定**するとともに層ごとの消費動向や生活スタイル等、販売促進に必要な情報収集・マーケティングリサーチを実施
- ✓ 環境配慮型消費・エシカル消費に関する各種調査の実施＞消費者の環境意識について各国間の意識の差異や近年の動向・民間企業の対応等について情報収集を実施。**最適なマーケティング手法を検討**
- ✓ 環境意識の高い消費者層の特定＞若年層が特に環境意識が高いこと、リベラルな思想が環境意識につながることを踏まえ、**環境意識が高い消費者層として両方の条件を備えた東京大学の学生を特定**

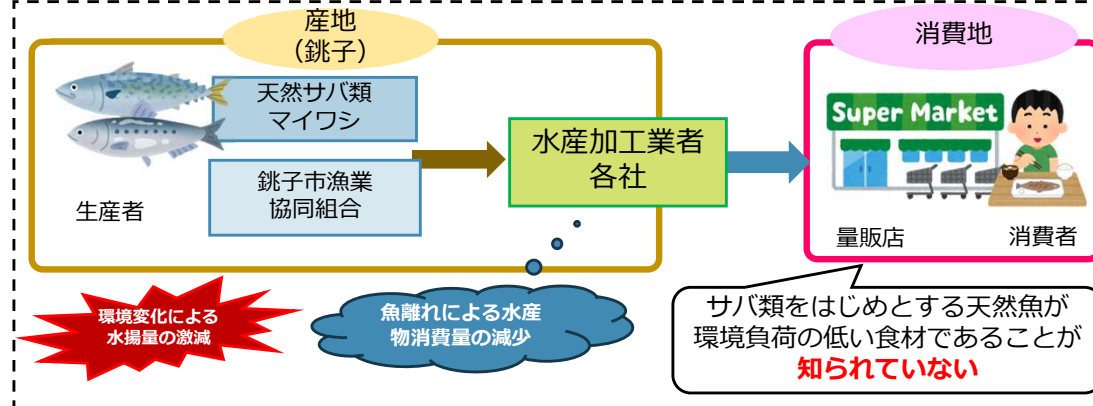
販売

◆有効なマーケティング手法の検討・実施

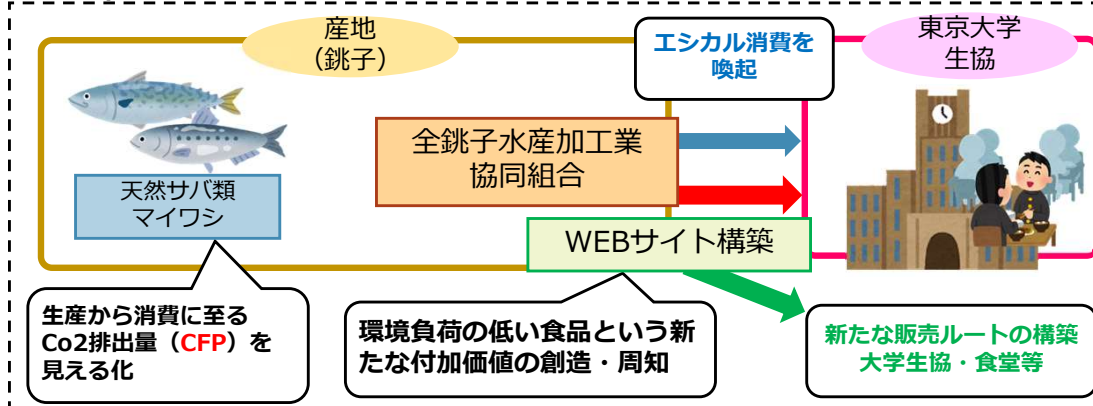
- ✓ CFPの詳細がわかるWebサイトの構築＞CFPの基本的な考え方について分かり易く周知するためのWebサイトを構築。銚子産サバ類および加工品について算出したCFPを**サイトに掲載し理解を醸成**
- ✓ 東京大学生協での加工品の試験販売とキャンペーンの実施＞環境意識が高い学生が多数在籍すると考えられる**東京大学の生協を対象にCFPの見える加工品を出荷**。キャンペーンを定期開催することで消費者の意識に関する実証試験を実施し、得られた情報をフィードバックすることで販路拡大を実現

環境負荷の見える化による水産物の販路開拓

■取組前の状況



■本取組で構築したバリューチェーン



■取組の現状と今後の展望

- 銚子漁港におけるサバ類の水揚げが激減。マイワシおよびマイワシ加工品についてCFPを算出
- オイルサーディン等の新製品を開発・製造し東大生協での提供を実施。高評価を獲得
- シンポジウムの開催等のPRも継続して実施。今後は他大学生協との連携等取組を拡大予定

★本取組によって得られたバリュー★

付加価値向上

CFPの見える化による水産物の付加価値向上

ITの活用

情報発信サイトの構築・活用による啓蒙活動・PR

販路開拓

大学生協との連携による効果的な販路開拓の実施